

利根別原生林を

楽しもう！

岩見沢駅から車で10分ぐらい。そんな場所に利根別原生林があります。今月号では、利根別原生林ウォーキングセンターに常駐している利根別の森自然ガイドの方にここを案内してもらい、ほんの一部ですが皆さんに紹介します。



サルノコシカケの一種

身近に、大自然がいっぱい

原生林の入口には、利根別自然公園があります。この中心には、大正池があり、この大正池をぐるりと1周できる自然観察・学習コースが



利根別原生林の入口

作られ、短い時間で自然を探求することができます。軽装でも散策でき、散歩に最適です。

奥に進むと、木製の歩道がありそれを過ぎると、いよいよ原生林の中です。最初にたくさん鳥の鳴き声が迎えてくれました。特に、ウグイスの鳴き声がきれいで、いろいろな場所からウグイスの鳴き声を聞いたことがあつた。利根別の森自然ガイドの方も、このウグイスの鳴き声は特にきれいだと言っていました。皆さんも是非聞いてみてください。皆さんの足元をふと見ると、小さくてきれ



大正池の風景

いな青紫色のエゾエンゴサクや、白や赤紫色のエンレイソウが、一面に咲いています。これらは、春を代表する花なので、見逃した方は、来年探してみてください。起伏に富んできました。だいぶ奥



木製の歩道です。大正池の水が増えるところの下は水が一面に張ります

利根別原生林

広大な石狩平野の東の端に位置し、夕張や増毛の山々が展望できる都市近郊の自然休養林。

広さは約400haで、約100種の広葉樹や、約500種の下層植物、1年を通じて40種以上の野鳥が観察することができる。学術的にも非常に価値の高いところです。



ヤドリギです。林内にたくさんありました

に入り込んできているようです。そんな時、ふと見上げると木にたくさん鳥の巣が、と思いきや、これはヤドリギなんだそうです。ヤドリギとは、鳥が運んできたヤドリギの種子が、木に直接根をはって寄生し成長した植物で、多いものでは1本の木に30個もついているものもあるそうです。

今回は、Bコースを歩いていきます。このコースには2か所の休憩スポットがあります。それは、休憩園地と中央園地です。休憩園地は昔は展望園地と言われていて、ここからの展望がきれいだったそうです。今は背の高い木で、その景色は見られなくなりました。中央園地は、広めの広場と屋根がある建物の中に、椅子とテーブルがあります。昔はもう少し広くてポールを使って遊ぶこともできたのですが、今はササが生い茂り狭くなってしまったそうです。

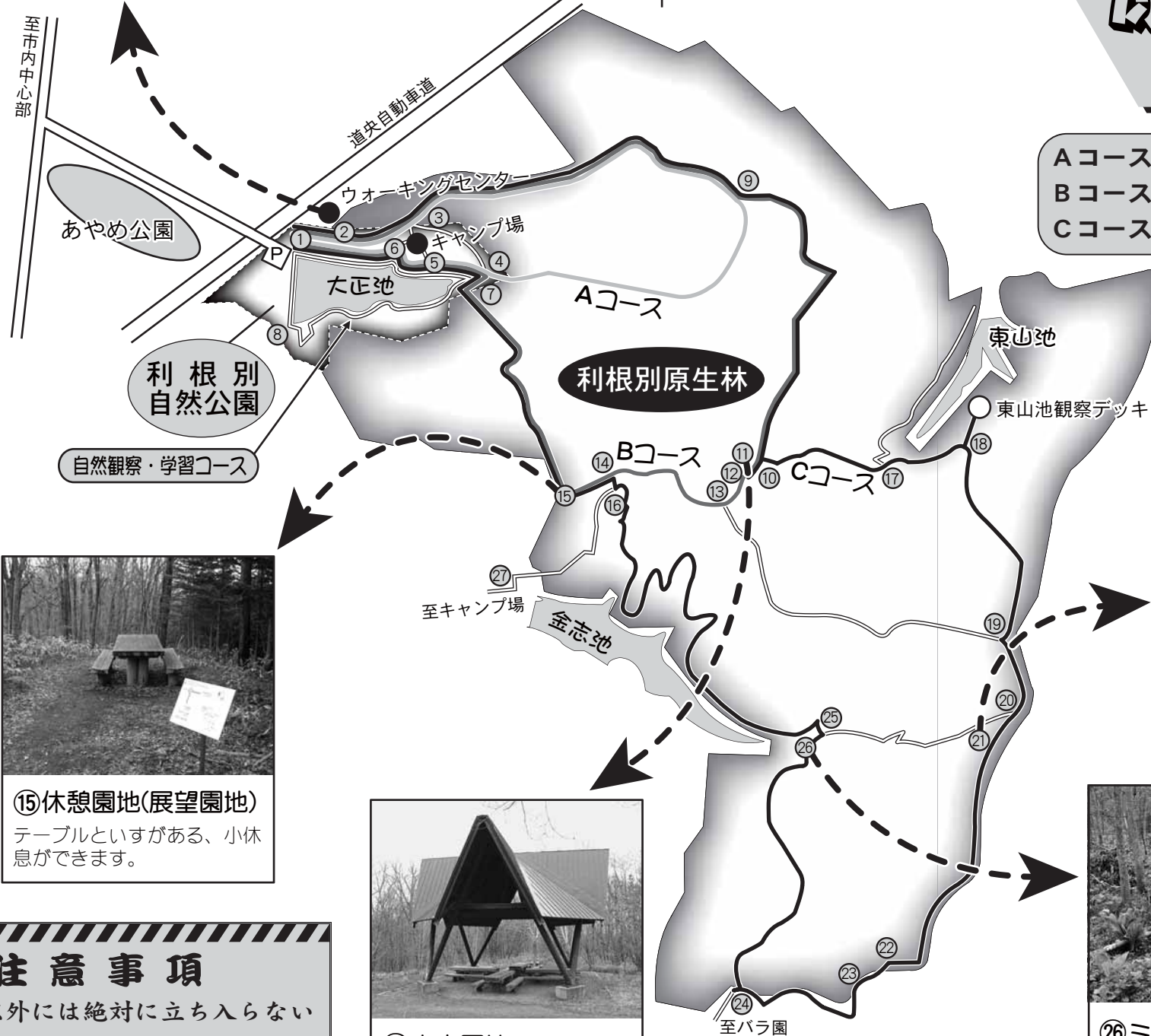


利根別原生林ウォーキングセンター

利根別原生林の総合案内所。
休憩等の場として無料で利用できます。

開館期間 4月21日～10月31日
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)
問合せ先 ☎32局2488

利根別 MAP 原生林



- Aコース 2時間コース(3.3km)
- Bコース 半日コース(5.0km)
- Cコース 1日コース(9.0km)



15 休憩園地(展望園地)
テーブルといすがある、小休憩ができます。



11 中央園地
林内で一番大きい広場。屋根が付いた休憩スペースがあります。



21 見晴らしが丘
秋の山市民スキー場の頂上にある展望スポット。夕張の山々が一望できるととてもどかな場所。



26 ミズバショウのみち
春から初夏にかけて足元に白い花をつけてとてもきれいに咲きます。



クマゲラに穴を開けられた木

やや歩いていくと、救急車のサイレンや重機が作業するエンジン音が聞こえてきました。日常生活とかけ離れたこの原生林の中で不釣り合いですが、これも都市に隣接しているならではの現象なんですね。

園路も広くなり木も密集してきたところで、数本の木に大きな穴が開いています。とてもきれいに開いているのですが、それはクマゲラの仕

業なのだそう。クマゲラは、木の中の虫を捕食したり、巣を作ったりします。大きく穴があいている木はこの原生林のなかにもたくさんあるそうです。

約5kmの距離を3時間ほどで歩きました。普段あまり運動していませんが、結構歩きました。それは、空気がきれいだからなんですよ。とても気持ち良かったです。

他にもたくさん草花や木などが、自然のままに残されています。エゾリスやウサギなども生息しています。住宅街のほんの奥にこんな素晴らしい場所があるんです。



このごろウォーキングをする方が増えていますが、ちょっと運動してみたいなと思うなら、本当にここがお勧めです。四季を通して色々な動物や草花が皆さんを迎えてくれるでしょう。

注意事項

- 遊歩道以外には絶対に立ち入らない
- 野生動物には近づかない
- ごみは必ず持ち帰る
- スズメバチに注意する